

汎濫(ハンラン) 汎は濫(基礎編監の項参照)と同義。河川があふれ、洪水コウスイになること。

凡例(ハンレイ) 本の初めに掲げるその本の利用法について書かれた条項。例言。

汎論(ハンロン) 一般的な論。また概括した論。

罷業(ヒギョウ) 業を罷めるの意で、ストライキの訳語。

氷雨(ひさめ) 雹ひょう・霰あられ。冷たい雨。

必携(ヒツケイ) 必ず携たずさえ持つべきものと言う。

逼塞(ヒツソク) 逼は遣る。塞はふさぐ。

八方ふさがりの状態。 落ちぶれて世間から隠れる。 門を閉じて昼間の出入りを禁じた刑。

秘匿(ヒトク) ひそかに匿かくす。

瀾漫(ビマン) 瀾は満ち満ちる意。(漫は基礎編曼参照) ある気分・風潮などが広がりはびこる意。

秘鑰(ヒヤク) 秘密のかぎ。

譬喩(ヒユ) たとえ。比喩とも書く。(基礎編辟・兪参照)

剽軽(ヒョウキン) 剽は軽快の意。気軽で滑稽コッケイなこと。

剽窃(ヒョウセツ) 剽はかすめる。窃はぬすむ。かすめぬすむ意だが、他人の文

章をぬすみ使うのに用いる。

平仄(ヒョウソク) 漢字の四声のうち、平声を平とし、上声・去声・入声を仄とする。

披露(ヒロウ) 披は開く。露はあらわす。

文書などを開いて皆に見せる。 公に発表すること。

品鑑(ヒンシツ) 品評。品定め。

顰蹙(ヒンシュク) 顰は顔をしかめる。蹙は足の縮む意だが皺しわを寄せる意に用いた。不快の色を表わすこと。例 顰蹙を買う

憫笑(ビンショウ) 憫は憐あわれむ。軽蔑と憐みとをこめた笑い。